

患者さんへ

臨床研究についての説明と 研究協力の御願いについて

研究名称：機械学習を用いた CT 画像による消化管穿孔診断モデルの学習
多機関共同研究

<p>研究の目的 (情報の利用目的)</p>	<p>■ 研究の背景</p> <p>消化管穿孔患者の死因の多くは敗血症性ショックであり、初期診療戦略においては出来るだけ速やかに外科的に感染のコントロールを開始することが重要となります。よって、初期の診察において致命的疾患を早期に発見し介入を開始することは、患者さんの病態生理を考慮すると妥当であると考えられます。</p> <p>近年、人間と同様の学習能力をコンピュータで実現しようとする機械学習が、医学領域にも応用され始めており、特に検査画像の自動解析が注目されています。機械学習を用いて CT 画像から致命的疾患を迅速に検索することができれば介入を早期に開始することができ、消化管穿孔患者さんの転機を改善する可能性があります。</p> <p>■ 研究の目的</p> <p>本研究は、消化管穿孔患者において CT 画像を自動解釈する機械学習モデルを学習させ、致命的疾患の予測能を評価することを目的として実施します。</p>
<p>研究の方法 (情報の利用方法)</p>	<p>■ 研究の方法</p> <p>複数の病院で行う多機関共同観察研究です。</p> <p>■ 研究の期間</p> <p>施設院長許可後（2023年12月29日予定）～2026年12月31日を予定しています。</p> <p>■ 研究の対象</p> <p>本研究を実施する各病院における2000年以降の患者さんを対象とし、以下の選択基準を満たし、除外基準に抵触しない方を対象とします。</p> <p><選択基準></p> <ul style="list-style-type: none">・共同研究機関の救急科・外科を受診もしくは入院した腹痛患者さん・レントゲン・CT・MRIなどの画像検査を行った患者さん <p><除外基準></p> <ul style="list-style-type: none">・6歳以下の小児患者さん・研究担当者が不適切と判断した患者さん